

令和5年度 第1回栃木県立黒羽高等学校 学校運営協議会 議事録

日時 令和5年6月20日（火）14:00～15:30

場所 栃木県立黒羽高等学校 図書館

I 任命書 手交

II 協議会

1. 開 会
2. 学校長挨拶
3. 栃木県教育委員会挨拶
4. 委員自己紹介および来校者紹介
5. 議 事

（1）学校の現状と課題の説明

- ①学校概要および令和4年度学校評価について（教頭・教諭）
- ②令和4年度卒業生の進路状況について（教諭）

（2）学校運営に関する基本的な方針の説明

- ①学校運営に関する基本的な方針の説明（校長）
- ②スクール・ミッションについて（校長）
（質疑・意見）

【委員】

現在、商工会は青年部が少なくなっている。高校生に参加していただき、活動に参加することで、地域を知っていただき、意見をいただいて活性化できるとありがたい。

【委員】

本校以外に、「個に応じた」「通級」など本校に近い特徴を押し出している学校はあるか。

→【県教委】

あるかもしれないが、他の学校よりは自校の伝統などを参考に、黒羽高校独自のスクールミッションを策定していただきたい

学校運営に関する基本的な方針について

挙手多数により承認

（3）学校の魅力化、特色化について

- ①魅力化アンケートの結果（主幹教諭）
- ②令和5年度推薦入試における志願者減の原因と対策アンケートについて（主幹教諭）
（質疑・意見）

【委員】

弓道部を作ってみてはどうだろうか。黒羽中学校も弓道部で実績がある。テニス部も、黒羽中学校で活躍する生徒が多いようなので、呼びかければ生徒は興味を示すかもしれない。

→【委員】

現状としては、弓道が続けたい生徒は黒磯南に進学する傾向がある。黒羽高校に進学希望者で弓道が続けたい者もいると聞く。テニスが続けたい生徒は、軟式テニス部がある矢板中央に進学する傾向がある。

【会長】

（委員に向けて）かつて本校では、黒羽小を訪れて運動会や学習ボランティアを行っていた。もし、本校でボランティアなどやってほしいことがあれば、ぜひお声かけしてほしい

【委員】

「学びなおし・授業が分かりやすい」の発信、地域について学ぶ、学校独自の取り組みは評価できる。一方で、地域の支え、応援がたくさんあるものの、それを発信する機会や生かせる機会が少ないようである。そこで、生徒が地域住民（地元企業に勤める方など）の話を聞き、地域を深める活動を行ってみてはどうだろうか。

→【会長】

一日体験入学等でそのようなことができないか

→【教頭・教諭】

現在、8月の実施に向けて調整を行っており、スケジュールの関係上実現は難しい。しかし、例年一日体験学習では各教科で模擬授業を行っており、そこで「分かりやすい授業」を中学生や保護者に向けて発信している。

【委員】

アンケートにおいて、志望動機「②自分の力を伸ばすことができそうだから④自分の進路が実現できそうだから」は、個の部分において感じた意見であるから、さらに分析ができればいいと思う。

【委員】

那須看護専門学校でも中途退学者が出ている一方で、矢板高校などの介護・看護科出身者は高校での指導の影響もあつてか、モチベーションが明確で、学校を辞めずに続けられているようである。医療関係者としては、地元の医療は地元で守るという 介護・看護・医療をコンセプトとするコースがあってもいいと思う。

→【教頭】

コースの創設は難しいが、希望者には科目選択のアドバイスを行っている。また、「ふれあい看護体験」の参加なども推進しており、看護、医療系を志望する生徒の進路実現に向けたサポートは行っている。

→【会長】

看護をはじめとして、「本校で進路を実現できる」ことが、本校の魅力につながると思う。

【委員】

高校でも小中学校のように、学校だよりを回覧板で回すことで、地域住民への周知ができるかもしれない。

【委員】

地域住民等の手元に情報が届くと、子どもたちに黒羽高校を勧めることができると思う。

【委員】

ホームページの更新について、教員の目線と生徒の目線での発信は異なる要素がある。中学生に

対して魅力を感じるような発信を強化してみるといいと思う。

(4) 次回の日程について

第2回は2学期（10月ごろ）に実施予定。近くなったら委員に連絡・調整を行う。

(5) その他

【委員より】

第3期高等学校再編計画について、大田原市は6月28日に黒羽高校存続の要望書を提出する予定。
内容は次の通り。

「黒羽高校は特色ある教育活動を展開している。文化・スポーツで実績があり、多くの卒業生を輩出し、地元就職して活躍している。地域に根差した学校として、黒羽高校の存続を要望する。」

6. 閉 会